2023年度 全学アクションプラン

	 分類	十 西	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画				
	万 親 	主要課題	目標値	担ヨ理争寺	推進部誌	関係云議寺	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1. 建学の精神	・「東洋の精神による人格の陶冶」、「己字の精神による人格の陶冶」、「己字の大人ヲ治メ、一世に有用ナル人材ヲ養成ス」、 上記建学の精神を学内・学外に 浸透させる		◎五十嵐常任理事 高岸副学長 (学長機務 領師交長 報師交長 七 小町理事 押野図書館長	総務・人事課 ⑥広試課 ②教務課課 ②教書課 高校事務室	・広報運営委員会	①新カリキュラムでの自校 教育継続実施と評価・検証 ②学外の認知度向上度の 中間評価を踏まえた浸透	①新カリキュラムでの自校 教育継続実施と評価・検証 ②新たな浸透策の実施効果 の把握	①新カリキュラムでの自校 教育継続実施と評価・検証 ②新たな浸透策の実施効果 の把握 ③150周年記念事業での 建学の精神の浸透策を検討	①新カリキュラムでの自校 教育継続実施と評価・検証 ②新たな浸透策の実施効果 の把握 ③150周年記念事業での 建学の精神の浸透策を検討	①新カリキュラムでの自校 教育継続実施と評価・検証 ②新たな浸透策の実施効果 の把握 ③150周年記念事業での 建学の精神の浸透策を検討
		KPI 認知度					100. 0		110.0	115. 0	1
I.建学の精神と	2. 二松学舎憲章	・二松学舎憲章の普及		◎五十嵐常任理事 小町理事 高柳理事	総務・人事課 ⑥広報課 ⑥大学改革推進課	・広報運営委員会	①中間評価の内容検証と 新周知活動計画の立案 ・実施 ②他大学等の取組事例 に関して検証、従前の 周知活動の改善、実施	①中間評価の内容検証と 新周知活動計画の立案 ・実施 ②新たな周知施策の実施 効果を調査	①中間評価の内容検証と 新周知活動計画の立案 ・実施 ②新たな周知施策の実施 効果を調査	①150周年に向けた浸透策 の実施 ②新たな周知施策の実施 効果を実施	①150周年に向けた浸透策 の実施 ②新たな周知施策の実施 効果を実施
二松学舎憲章		KPI 認知度					100.0	105. 0	110.0	115. 0	120.0
一位了日本平		・二松学舎150年史の編纂・発行		◎五十嵐常任理事 小町理事 高柳理事 押野図書館長	総務・人事課 ⑥広報課 ⑥図書課	•150年史編纂 委員会	①150周年史関連の資料調査・ 収集 ②150周年史編纂計画大綱の 確定・作業計画の立案・実施 ③編纂業務担当者の選任 ④150周年史編纂委員会の開催	②150周年史編纂計画大綱 に基づき、編纂に着手 ④150周年史編纂委員会の 開催	②150周年史編纂計画大綱 に基づき、編纂継続 ④150周年史編纂委員会の 開催	②150周年史編纂計画大綱 に基づき、編纂継続 ④150周年史編纂委員会の 開催	②150周年史発行 ④150周年史編纂委員会の 開催
	3. 二松学舎史編纂	KPI									
	事業と周年事業	・創立150周年記念式典の実施		◎五十嵐常任理事 小町理事 髙柳理事	◎総務・人事課 広報課 ◎企画・財務課	·150周年記念事業 準備委員会	②創立150周年記念式典の 検討開始	②創立150周年記念事業等の 検討	②創立150周年記念事業準備 委員会の立ち上げ ③主要「周年記念事業」の 選定	④創立150周年記念事業の実 現に向けた諸準備の実施	④創立150周年記念事業の 実現
		KPI									
		・21世紀型教育体制の構築		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常年理事 江藤理事 山口研究科長 松本研究科長	◎大学改革推進課 ◎教務課 企画·財務課	·理事会 ·理会事議 ·政学学会 ·文大授部会会 ·大教授部会 ·学企画	①文学部歴史文化学科の開設2年 目の検証、国際日本学研究科 完成年度の評価 ③カリキュラムの実態調査の 実施・検証 ⑤国際政治経済学部の改革 方向性を確認	3年目の検証 ③カリキュラムの実態調査の 実施・検証	年度の評価の検証 ③カリキュラムの実態調査の 実施・検証 ⑤(必要に応じて)各種申請	実施・検証	③カリキュラムの実態調査の 実施・検証 ⑤(必要に応じて)教育組織 の一部改編実施
	1. 大学のフレーム	①学生支援度 KPI ②教育成果可視化度合 ③志願者倍率	65.0 2017年度比 文257.1% 政243.8% 文12.07倍 政10.93倍				文: 257.1% 政: 243.8% ③(文·政)5.2	①57.5 ②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8% ③(文・政)5.3	①59.0 ②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8% ③(文・政)5.4	①60.0 ②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8% ③(文・政)5.5	①61.0 ②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8% ③(文・政)5.6
II. 二松学舎大学・ 大学院の教育		・学部再編等による特定成長分野への転換支援に係る検討		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事 須藤学務局長	◎企画・財務課	·学部学科改編 企画会議	①学部学科改編企画会議による 検討 ②他大学事例の調査 ③申請スケジュールの確認・ 検討				
改革		KPI					」 新カリキュラムにおけるキャリ	新カリキュラムにかけるキュ	新カリキュラ人になけるキュ	新カリキラ人の修正士たけ	新カリキラムの修正または
	2. 大学のマネジメント	・次世代型新カリキュラムの編成		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事 須藤学務局長	大学改革推進課 ②教務課	·学部学科議 ·大学等 ·大学等教 ·大学等教委会 ·大学等教委会 ·教授会 · 教授会	利力がイェンスにありるイヤリア教育の運用と検証(特に科目内容と開講適正数) ※キャリアセンターとの連携を踏まえて	リア教育の運用と検証(特に 科目内容と開講適正数)	制力がすることのでは、特には、特には、特には、特には、特別では、特別では、特別では、対目内容と開講適正数)が、キャリアセンターとのでは、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別	新々カリキュラムの導入	新々カリキュラムの検証・ 修正
	2. ハテッ・インアント	KPI ①教育成果可視化度合	2017年度比 文257.1% 政243.8%				文: 257.1% _ 政: 243.8%	②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8%	②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8%	②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8%	②2017年度比 文: 257.1% 政: 243.8%
		・開講科目数の適正化		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎教務課	・理事会・常任事会・政策学審議・大学審議会・教授会	②適正なコマ数によるカリ キュラム運用開始・検証	②適正なコマ数によるカリ キュラム運用・検証	②適正なコマ数によるカリ キュラム運用・検証	①新カリキラムの修正または 新々カリキュラムの導入	①新カリキラムの修正または 新々カリキュラムの導入
		KPI									

1

4		主要課題	最終 目標値	担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画 2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		•教育•研究環境整備	口怀吧	◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 武山理事 武山理事 押野図書館長	◎大学改革推進課 ◎IR推進室 ◎教務課 ◎図書課 ◎情報システム管理室	·大学運営会議 ·大学審議会 ·文学審議協議会 ·全学教員協議会 ·自己点検評価運営 委員会等	①ICT環境充実度の検証 ②学生配付PC活用方策 の継続検討 ③各部署から集められたデータ を分析し、IRを充実 ④学生用端末のBYOD化に向けた 検討(有料版AI導入を含む)	2024年及 ①ICT環境充実度の検証及 び新たな環境整備の検討 ②学生配付PC活用方策 の継続検討 ③教育研究支援のためのIR 活動を推進 ④学生用端末のBYOD化に向けた検討(有料版AI導入 を含む)	(1)ICT環境充実度の検証及 び新たな環境整備の検討 ②学生配付PC活用方策 の継続検討 (3)教育研究支援のためのIR 活動を推進	(1)[CT環境充実度の検証及 び新たな環境整備の検討 ②学生配付PC活用方策 の継続検討 ③教育研究支援のためのIR 活動を推進	3教育研究支援のためのIR 活動を推進
		①学生支援度 KPI ②DP達成度	65.0 2017年度比 文:150.5% 政:131.8%				①56.0 ②2017年度比 文:122.5% 政:115.7%	①57.5 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%	①59.0 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%	①60.0 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%	①61.0 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%
		・教学ガバナンスの確立		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎大学改革推進課◎教務課		①新ガバナンス体制の検証と 継続的な見直し	①新ガバナンス体制の検証と 継続的な見直し	①新ガバナンス体制の検証と 継続的な見直し	①新ガバナンス体制の検証と 継続的な見直し	①新ガバナンス体制の検証と 継続的な見直し
		KPI									
	2. 大学のマネジメント	・FD活動の見直し、体系化		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎大学改革推進課 教務課	・自己点検評価実施 委員会 ・専攻主任会議	①新FD計画の継続実施 ②web授業アンケートの 更なる活用 ④シラバス記載内容に係る FDの継続実施 ⑤学生代表とるFDの充実 ⑥ティ導入によるFDの充実 のするがポートフォリオの導入を制度の充実 ⑧ラーニングポートンズィブラーニング導入授業の拡大	①新FD計画の継続実施 ②web授業アンケートの 更なる活用 ④シラバス記載内容に係る FDの継続表、教育評議員等 の参加・チングポートの リオの試行導入 ⑦TA研ーニング・伴うア業の 第ラーニング導入 フーニング・ボーチンズの利 用促進ニング・ボーチング・ボーチング・ボーチング・ボーチング・ボーチング・ボー	用促進等に伴うアクティブ	用促進等に伴うアクティブ	①新FD計画の継続実施 ②web授業アンケートの 更なる活記載内容に係る FDの継続実施 ③シラが継続表、教育評議員等 の参加にチングポ年目) ⑦オの導入(3年目) ⑦TA研修制ののカーフォーリオ研修制のが、コテングが第一に進生がで、コテングが表別。 周田促進ング導入授業の利ブテ拡大
		KPI									
II. 二松学舎大学・ 大学院の教育		・第3期認証評価への対応		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎大学改革推進課	·大学運営会議 ·自己点検評価実施 委員会	①改善策に基づいた課題 改善の継続実施 ②改善報告書の作成 ③自己点検・評価体制への 学生代表参加の継続実施	①改善策に基づいた課題 改善の継続実施 ②改善報告書等の提出 ③自己点検・評価体制への 学生代表参加の継続実施	①改善策に基づいた課題 改善の継続実施 ②第4期認証評価機関の 選定開始 ③自己点検・評価体制への 学生代表参加の継続実施	①改善策に基づいた課題 改善の継続実施 ②第4期認証評価機関の 選定 ③自己点検・評価体制への 学生代表参加の継続実施	①改善策に基づいた課題 改善の継続実施 ②第4期認証評価受審 ③自己点検・評価体制への 学生代表参加の継続実施
改革		KPI									
		・私立大学等改革総合支援事業へ の対応		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎大学改革推進課	·大学運営会議 ·自己点検評価実施 委員会	①入試関係、教務関係の改革 状況を確認する。 ②学長のリーダシップのもと 大学を改革する体制整備を 図る	①入試関係、教務関係の改革 状況を確認する。 ②学長のリーダシップのもと 大学を改革する体制整備を 図る	③全学的な取り組み環境の	②改革体制の運用 ③全学的な取り組み環境の 構築	②改革体制の運用 ③全学的な取り組み環境の 構築
		KPI ①私立大学等改革総合支援 事業への採択	タイプ1、 タイプ3の採択								
		・教学DXの推進	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	西畑常任理事 ⑤高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤学務局長	⊚教学DX推進室	・理事会 ・常任理事会 ・大学運営会議 ・大学審議会 ・教学DX委員会	①教育DXに関する情報収集 ②他大学先行事例の実地見学、 ヒアリングの実施 ③DXに向けての各部署への業 務に関するヒアリング ④教学DX化に関する各種素案 の検討 ⑤次期基盤システム・LMSの 導入準備	①教育DXに関する情報収集 ②収集した情報の集約・精査 ③教学DX化に関する各種原 ④関係部署との調整及び具体 的検討事項の関係部署への 移管 ⑤原案の実現性等の精査 ⑥次期基盤システム退用 ⑦LMSの運用開始 ⑧次期基盤システムとLMS の機能精査及び教学DX に必要なカスタマイズ要件の 検討	②原案の実現性等の精査 ③予算措置の検討・調整 ④次期基盤システムの完全	①教学DX化に関する各種原案の実行 (DX化への具体的作業) ②教育DXに関する情報収集 ③次期基盤システム及びLMS のDX化に必要なカスタ マイズ要件の確定	①教学DX化に関する各種原案の実行 (DX化への具体的作業) ②教育DXに関する情報収集 ③次期基盤システム及びLMS のDX化に必要なカスタ マイズの実施
	3. 大学の教育改革	KPI			-		 ①新カリキュラムでの自校	①新カリキュラムでの自校	①新カリキュラムでの自校	│ ①新カリキラムの修正または	①新カリキラムの修正または
	5. 7.1 WINHWY	・自校教育の導入・充実		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	大学改革推進課 ⑤教務課 学生支援課	·大学運営会議 ·教授会 ·全学教務委員会 ·教務委員会	(1) 教育の評価・検証 ②自校教育の在り方等検討 ③基礎ゼミテキストの次年 度改訂版・修正版作成	(1) 対対のでは、 教育の評価・検証 (2) 自校教育の在り方等判断 (3) 基礎ゼミテキストの次年 度改訂版・修正版作成	(1) 対ガウギュウムでの目校 教育の評価・検証 (2) 自校教育の在り方等見直し (3)基礎ゼミテキストの次年 度改訂版・修正版作成	(T) がカッキュラムの停止または 新々カリキュラムの導入	(①新ガリキュラムの停止まだは 新々カリキュラムの導入
		KPI					②ルーブリックの効果検証	③アヤスメントプランに伝ス	③アセスメントプランに係る	③アヤスメントプランに仮ス	③アヤスメントプランに伝ス
		・アセスメントポリシーの策定と 成績評価制度の見直し		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎大学改革推進課◎教務課	·大学運営会議 ·教授会 ·全学教務委員会 ·教務委員会	②ルーノリックの効果検証 ③アセスメントプランに係るFD の検討・実施 ④アセスメントプランに基づく 学修成果検証とフィードバック	③アセスメントノランに係る FDの検討・実施 ④アセスメントプランに基 づく学修成果検証とフィー ドパック	FDの検討・実施 ④アセスメントプランに基づ	FDの検討・実施 ⑤新カリキュラム修正又は 新々カリキュラム導入に よる新制度導入	③アセスメントノランに係る FDの検討・実施 ⑤新カリキュラム又は 新々カリキュラム導入に よる新制度検証
		KPI									

分類		主要課題	最終 目標値	担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画	20017	0005	2000 7-7-	0007/5
		・学生満足度の向上	日保旭	◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事 須藤学務局長	◎大学改革推進課 ◎IR推進室 ◎学生支援課	・全学学生委員会・学生委員会	2023年度 ①学生満足度調査の長期 傾向分折と対策案の策定 ②学生サービス及び施設・ 設備の改善計画の実施 ③認証評価結果を踏まえた 教学改革のPDCAサイクル 改善結果の検証	2024年度 ①学生満足度調査の長期 傾向分折と対策案の策定 ②学生サービス及び施設・ 設備の改善計画の実施	2025年度 ①学生満足度調査の長期 傾向分折と対策案の策定 ②学生サービス及び施設・ 設備の改善計画の実施・ 検証	2026年度 ①学生満足度調査の長期 傾向分折と対策案の策定 ②学生サービス及び施設・ 設備の改善計画の実施・ 検証	2027年度 ①学生満足度調査の長期 傾向分折と対策案の策定 ②学生サービス及び施設・ 設備の改善計画の実施・ 検証
		①学生支援度 KPI ②DP達成度	65.0 2017年度比 文:150.5% 政:131.8%				①56.0 ②2017年度比 文:122.5% 政:115.7%	①57.5 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%	①59.0 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%	①60.0 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%	①61.0 ②2017年度比 文:126.5% 政:118.0%
		・グローバル化の推進		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事 須藤学務局長 塩田センター長	教務課 ◎国際交流センター	· 国際交流委員会 · 全学教務委員会 · 教務委員会	① 新規協定 では できます できます できます できます できます できます できます できます	組の検証 ④外国語試験基準以上学生教の向上策の継続的実施と改善策外大学による多様かつ意か教育機会の留学生の資産の実施 ⑥優秀な外国人の検討およびの機会の経対の検応 ⑦既の組入の検応 ⑦既卒築および本学への貢献活動への誘致	は	既存流の実施を を対して で変統を で変統を で変統を で変統を で変統を で変統を で変統を で変がを で変がを で変がを で変がを で変がを で変がを で変がを で変がを で変がを で変がを で変がを でする でのまの でのまの でのまの でのまの でのまの でのまの でのまの によいのまの によいのまの によいのよる にはののよる にはののよる にはののよる にはののよる にはののよる にいるのよる でのよる でのよる にいるのよる でのまる でのる でのる でのる でのる でのる でのる でのる での	①国際関とでは、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の
10.3%		①海外協定校数 KPI ②日本人学生留学率	30校 1.80%					①39校 ②1.52%	①40校 ②2.03%	①40校 ②2. 52%	40校 ②3.00%
II. 二松学舎大学・ 大学院の教育 改革	3. 大学の教育改革	③外国人留学生在籍率 ・体系的キャリア教育の導入・実施	5.00%	◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤開理事 武山理事 高藤理事 高藤学学 ・中垣センター長	◎教務課◎キャリアセンター 事務課	キャリアセンター会議全学教務委員会教務委員会	③4.20% ①新カリキュラムにおける キャリア教育の運用と検証 ②卒業生現況調査の継続実施、 分析 ③次世代型キャリア教育の 継続検討	③4.52% ①新カリキュラムにおける キャリア教育の成果・課題 確認 ②卒業生現況調査の継続 実施、分析 ③関係会議横断による次世代 型キャリア教育の具体案 策定	③5.00% ①新カリキュラムにおける キャリア教育の成果・課題 確認 ②卒業生現況調査の継続 実施、分析 ③次世代型キャリア教育具体 案に基づくインターン シップ学生派遣先企業 の検討	②卒業生現況調査の継続 実施、分析	③5.00%①新カリキラムまたは 新々カリキュラムの 検証・修正②卒業生現況調査の継続 実施、分析
		①就職率 ②公務員就職者数 ③上場企業就職率	文96.0% 政96.5% 35名 17.5%	5			①(文)94.5%、(政)95.0% ②33名 ③16.0%	①(文)95.0%、(政)95.5% ②34名 ③16.5%	①(文)95.5%、(政)96.0% ②35名 ③17.0%	①(文)96.0%、(政)96.5% ②35名 ③17.5%	
		·教職採用者数の維持	17.30	◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事 須藤学務局長 矢持センター長	◎教職課程センター		①完成年度を迎えた教職課程新カリキュラムの検証と支援講座カリキュラムの検証と支援講座への反映。②データを活用した自己点検システムの強化。③私立学校教員採用に関する情報収集・対策実施。④教育カ向上のための紀要刊行⑤社会科コースの開講(または検責を成特別プログラム募集強化案検討	①採用選考に係る情報収集 ②データを表別のした ②データを表別のした ③が一次を支援講活用のした ③が一次の強員が発展に関する情報の上のための る情報の上のための 紀要刊行 ⑤社会科コースの開講 (または教員養成特別の ⑥小学校募集強化案検討	①完成年度を迎えた教職課 程新カリキュラムの検証、	①採用選考に係る情報収集 と支援講座への反映 ②データを活用した自己点検 システムの強化	①採用選考に係る情報収集 と支援講座への反映 ②データを活用した自己点検 システムの強化 ③私立学校教員採用に関す る情報収集・対策実施 ④教育力向上のための 紀要刊行
		KPI ①公立教員採用試験合格者数	20名 (文18·政2)				①20名	①20名	①20名	①20名	①20名
		・産学連携の推進	(X10°EX2)	◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎地域·産学連携室 大学改革推進課 教務課		③提携企業との連携継続 実施 ④共同研究等外部研究資金 獲得の推進	③提携企業との連携継続 実施 ④共同研究等外部研究資金 獲得の推進	③提携企業との連携継続 実施 ④共同研究等外部研究資金 獲得の推進	③提携企業との連携継続 実施 ④共同研究等外部研究資金 獲得の推進	③提携企業との連携継続 実施 ④共同研究等外部研究資金 獲得の推進
		KPI									
		i I				1			I	t .	1

類	主要課題		担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画				
	・地域社会との連携強化	目標値	②高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事 江野図書館長	総務・人事課 広報報務課 ⑤地域が主選等連携室 ⑥文書課		2023年度 ①地域完正 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	参加者の増加 ④私立大学等改革総合支援 事業タイプ3「プラット	連携事業見直しと新規事業 を模索 ④私立大学等改革総合支援 事業タイプ3「プラット	連携事業見直しと新規事業 を模索 ④私立大学等改革総合支援 事業タイプ3「プラット	2027年度 ①生産 (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
3. 大学の教育改革	への地域住民参加有数 ⑥ 千代田コンソ地域向け 共同公開講座実施件数 ⑦地域産業界との連携 教育プログラム実施件数 ⑧地方大学との相互参加型 教育プログラム実施件数 ⑨ 共同IRでの分析・公表 項目数 ⑩アウトカム指標	年延べ2名以上 年延べ3名以以上 年延べ6名以以上 隔年1件名以上 5年1回 年3項目以上 前前年度以上	③ 高学務理科科 一個 高学藤田山松 一個 高学藤田山松 一個 高学藤田田 一個 一個 一	○大学改革推進課○教務課○大学改革推進課○教務課	·專攻字科委員会 ·專攻究科委 ·專攻究科委 ·專攻究科委 ·專攻究科委 ·專克科委	年延べ6名以上 隔年1件以上 延べ70名以上 隔年1回以上 5年間で1企業以上 1回 年3項目以上 前年度比5%増 前年度比5%増 年1回以上 ①文デディグリー制度の周知 ③大学院生の研究成果公表 数向上策の見直し	年延べ2名以上 年延べ3名以上 年延べ6名以上 隔年1件以上 延べ70名以上 隔年1回以上 5年間で1企業以上 1回 年3項目以上 前年度比5%増 前年度比5%増 年1回以上 (1)文学デ院生のの見のの 3、数向上策の見直し (3)研究科の原直し (3)研究科の原直し	1回 年3項目以上 前年度比5%増 前年度比5%増 年1回以上 ①文学研究科におけるダブ ルディグリー制度の周知 ③大学院生の研究成果公表 数向上策の見直し	年延べ2名以上 年延べ3名以上 年延べ6名以上 隔年1件以上 延べ70名以上 隔年間で1企業以上 1回 年3項目以上 前年度比5%増 年1回年3項目以上 前年度以上の第4 年1回年3項目以上 前年年度以上の第4 日1の 日1の第4 日1の第 日1の第4 日1の第 日1の第 日1の第 日1の 日1の 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1	①文学研究科におけるダブルディグリー制度の周公表ルディグリー制度の周公表数向上策の見直し ③研究科の研究内容のレベル維持・見直し
	KPI ・科研費採択件数の向上 KPI ①学術成果			企画·財務課 ②大学改革推進課 教務課		①科研費獲得件数の増加・支援体制の改善・見直し ③ペンチマーク校との採択率 比較実施 ④教員へのガイダンスを見直して実施 ⑤「目標値」設定への働きかけ 実施 ①2017年度比 文123.2%	①2017年度比 文125.4%	①2017年度比 文125.4%	①科研費獲得件数の増加 ・支援体制の再検証 ③ベンチマーク校との採択 率比較実施 ④教員へのガイダンス実施 ①2017年度比 文125 4%	①科研費獲得件数の増加 ・支援体制の再検証 ③ベンチマーク校との採択 率比較実施 ④教員へのガイダンス実施 ⑤N' 2030Plan最終目標達成 に向けた具体策の検討 ①2017年度比 文125.4%
. 研究活動の推進	・漱石アンドロイド学術研究の推進	政199.6%	◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	広報課 企画·財務課 ◎教務課	・漱石アンドロイド 運営委員会・漱石アンドロイド AR分科会	<u>政147.8%</u> ①第二期研究の実施 ②共同研究報告書の編集・発行 ⑤大学教育への新たな還元方法の検討・実施 ⑥漱石アンドロイドに係る広報活動の実施・検証	政155.2% ①第二期研究の実施 ②共同研究報告書の編集・発行 ⑤大学教育への新たな還元 方法の検討・実施 ⑥漱石アンドロイドに係る 広報活動の実施・検証	発行 ⑤大学教育への新たな還元 方法の検討・実施 ⑥漱石アンドロイドに係る 広報活動の実施・検証	政155. 2% ①第三期研究の検討 ②共同研究報告書の編集・発行 ⑤大学教育への新たな還元方法の検討・実施 ⑥漱石アンドロイドに係る広報活動の実施・検証 ⑦協定締結10周年記念事業等の実施	政155.2% ①第三期研究の検討 ②共同研究報告書の編集・発行 ⑤大学教育への新たな還元方法の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		①共同FD年間参加者数 ②共同SD年間参加者数 ③学生共同ボランティア 参加者数 ④「干代田学」採択件数 ⑤干代田コンソ地域イペント への地域住民参加者数 ⑥ 干代田コンソ地域向け 共同公開講座実施件数 数育プログラム実施件数 ③ 地方大学との相互参加型 教育プログラム実施件数 ③ 共同IRでの分析・公表 項目数 ⑥ アウトカム指標 i 連携を利自割合 ① 連携等利自割合 ① 連携等利自割合 ① でいたは事業実施回数 ・研究内容のレベル維持 KPI ・研究科組織の見直し、改編 KPI ・科研費採択件数の向上 KPI ・科研費採択件数の向上 KPI ・科研費採択件数の向上	①共同FD年間参加者数 2共同SD年間参加者数 2 学生共同ボランティア 3 学生共同ボランティア 3 小 世	- 地域社会との連携強化 (学長職務代理) (学長職務代理) (本語で理事 / 押野図書館長 (の) (・地域社会との連携強化 ①	- 地域社会との連携強化 - 地域社会との連携強化 - 地域社会との連携強化 - 地域社会との連携強化 - で展示を発展 - で展示を表現した - で展示を表現を表現した - で展示を表現を表現した - で展示を表現を表現した - で展示を表現を表現した - で展示を表現を表現した - で展示を表現を表現した - ・ 一 で展示を表現を表現した - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 地域社会との連携強化 - 地域社会との連携強化 - 地域社会との連携強化 - の実施を登集 - のまた を受施。 - のまた を受施を受験 - を受施した。 - のまた を受施を受験 - を受施した。 - できた のまた のまた のまた のまた のまた のまた のまた のまた のまた のま	- 地域社会との連門液化 - 地域社会との連門液化 - 地域社会との連門液化 - 地域社会との連門液化 - 地域社会との連門液化 - 地域社会との連門液化 - 中華 - 中	・	・

	 分類	主要課題	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画				
•	/1 /X	工女体应	目標値	にコ在デザ	개인의과	因水五斑寸	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		・奨学金制度の見直し		◎高岸副学長 (学長職務代理)	◎学生支援課		①中間評価を受け、奨学金制度の見直し、拡充 ③高等教育無償化の効果として在籍・成績状況の変化について調査実施 ⑤大学、高校、中学とのバランスを考慮した奨学金制度の見直し検証	①新たな奨学金制度の運用	①新たな奨学金制度の問題点 等検証	①新たな奨学金制度の問題点 等検証	①新たな奨学金制度の問題点等検証
		KPI ①学生支援度	65.0				<u>(1)65.</u> 0	(1)65. 0	①65.0	(1)65, 0	①65. 0
	5. 学生支援	・課外活動充実策の抜本的見直し		◎須藤学務局長	◎学生支援課		①前年度評価を受け、新たな 改善策等の施策策定 (顧問制度の見直し検討)、 学生会等との継続的な意見 交換による課外活動支援 ②外部施設等の利用補助等 による活動充実度の検証 ③コロナ後の課外活動のあり方 について(活動基準作り)	①改善策に基づく新たな 施策の運用、学生会等 との継続的な意見交換 による課外活動支援	①改善策に基づく新たな 施策の運用、学生会等 との継続的な意見交換 による課外活動支援	(①改善策に基づく新たな 施策の運用、学生会等 との継続的な意見交換 による課外活動支援	①改善策に基づく新たな 施策の運用、学生会等 との継続的な意見交換 による課外活動支援
		KPI ①学生支援度	65.0				<u>1</u> 56. 0	①57.5	①57. 5	160.0	1 60. 0
		・就職率の向上、維持		◎高岸県 ◎高岸長 (学長代理) 佐藤常任理事 江藤理理事 高柳藤学局長 中垣センター長	教務課 ⑤キャリアセンター 事務課	・全学教務委員会・教務委員会・キャリアセンター会議	①教員との協働による 支援強化 ②都市文化デザイン学科 4期生、国際経営学科3期 生の就職実績検証 ③実界ネットワークの検証 と見直し(上場企業への アプローチ強化)	①教員との協働による 支援強化 ②国際経営学科4期生の就職 実績検証 ③実業界ネットワークの検証 と見直し(アプローチした 上場企業との信頼性、関係 性の強化)		状況把握と支援強化	①教員との協働による 支援強化 ②歴史文化学科3期生の就職 状況把握と支援強化 ③実業界ネットワークの検証 と見直し(学内合同企業説 明参加企業の上場企業割合 を向上)
II. 二松学舎大学・ 大学院の教育 改革	5. 学生支援	①教育成果可視化度合 KPI ②就職率 ③公務員就職者数 ④上場企業就職率	2017年度比 文257.1% 政243.8% 文96.0% 政96.5% 35名					①2017年度比 文:257.1% 政:243.8% ②(文)95.0% · (政)95.5% ③34名 ④16.5%	①2017年度比 文:257.1% 政:243.8% ②(文)95.5% · (政)96.0% ③35名 ④17.0%	①2017年度比 文:257.1% 政:243.8% ②(文) 96.0% · (政)96.5% ③35名 ④17.5%	①2017年度比 文:257.1% 政:243.9% ②(文)96.0% · (政)96.6% ③36名 ④18.0%
		・学生情報(教育成果)の管理、 活用推進	2017年度比	◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事 武山理事 須藤学務局長 中垣センター長	IR推進室 ②教務課 ②学生支援課 教職課程センター キャリアセンター 情報システム管理室 教学DX推進室		①新教務システムのLMSの保護 者ポータル機能の検討 ②新教務システムのLMSの学生 ポートフォリオ機能の検討	①新教務システムのLMSの保護者ポータル機能の導入②新教務システムのLMSの学生ポートフォリオ機能の導入②2017年度比	①保護者ポータルの次期シ ステム運用開始 ②学生ポートフォリオにつ	①保護者ポータルの運用状 況検証 ②学生ポートフォリオにつ いて、次期システム運用 状況検証 ②2017年度比	①保護者ポータルの運用状 況検証 ②学生ポートフォリオにつ いて、次期システム運用 状況検証 ②2017年度比
		KPI ①教育成果可視化度合	文257.1%				文: 257.1%	文:257.1%	文: 257.1%	文: 257.1%	文: 257.1%
	6. 入学者の確保、 退学者等の減少	・外国人留学生在籍者数の 安定的確保、増員	政243.8%	西畑常任理事 ⑤高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎入試課 国際交流センター	·大学運営会議 ·学生募集広報戦略 検討会議	政: 243.8% ①外国人留学生確保のための 広報検討と前年度の検証 ②大学院留学生確保のための 戦略の検証と見直し ③日本語学校へのアプローチ 方法の前年度検証と見直し	広報検討と前年度の検証 ②大学院留学生確保のための 戦略の検証と見直し	戦略の検証と見直し 3日本語学校へのアプローチ	政: 243.8% ①外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ②大学院留学生確保のための戦略の検証と見直し ③日本語学校へのアプローチ方法の前年度検証と見直し	戦略の検証と見直し
	~	①国際政治経済学部	10名				11名				
		留学生入学定員充足率 ②国際政治経済学研究科 留学生入学者数	10名				8名				
		③国際日本学研究科	20名				17名				
	1	留学生入学者数						I			

	/\ *X	→ -== ===	最終	担当理事等	₩ ₩ ₩ ₩	明 広 人辛 佐	5カ年の年次推進計画				
7	分類	主要課題	目標値	担ヨ理争寺	推進部課	関係会議等	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		・新入試制度への対応		◎高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 江藤理事	◎入試課	·大学運営会議 ·学生募集広報戦略 検討会議	①新学習指導要領に対応した 入試制度の検討 ②受験生増に向けた前年度入 試制度・広報戦略の検証と 見直し ③対面イベントの強化、来場 者満足度向上のためのプロ グラムの工夫 ④認知向上への施策検討と実 施	入試制度の検討・実施 ②受験生増に向けた前年度入 試制度・広報戦略の検証と 見直し	試制度・広報戦略の検証と 見直し ③対面イベントの強化、来場 者満足度向上のためのプロ グラムの工夫		入試制度の検証と調整 ②受験生増に向けた前年度入 試制度・広報戦略の検証と 見直し ③対面イベントの強化、来場
		①志願者倍率 ②偏差値	文12.07倍 政10.93倍 文57.6·政53.2				①文:5.1 政:5.0 ②文57.5、政50.5	①文:5.2 政:5.1 ②文58.0、政51.0	①文:5.3 政:5.2 ②文58.5、政51.5	①文:5.4 政:5.3 ②文59.0、政52.0	①文:5.4 政:5.3 ②文59.0、政52.0
	6. 入学者の確保、 退学者等の減少	③入学定員充足率 ・退学率の低減	113.9%	◎須藤学務局長	◎学生支援課	·全学学生委員会 ·学生委員会	①中間評価を受けた新たな	③114.9% ①新たな施策の運用 ②学業継続不適合者支援の 検証と支援制度の推進	③114.9% ①新たな施策運用の検証 ②学業継続不適合者支援の 検証と支援制度の推進	③114.9% ①新たな施策運用の検証 ②学業継続不適合者支援の 検証と支援制度の推進	③114.9% ①新たな施策についての検証
Ⅱ. 二松学舎大学・		①収容定員充足率 ②学生支援度 KPI ③DP達成度 ④退学率	120.8% 65.0 2017年度比 文:150.5% 政:131.8% 文2.25% 政2.33%				③2017年度比 文:122.5% 政:115.7%	①119.0% ②57.5 ③2017年度比 文:126.5% 政:118.0% ④文:2.73% 政:2.37%	①119.0% ②57.5 ③2017年度比 文:126.5% 政:118.0% ④文:2.73% 政:2.37%	①119.0% ②57.5 ③2017年度比 文:126.5% 政:118.0% ④文:2.73% 政:2.37%	①119.0% ②57.5 ③2017年度比 文:126.5% 政:118.0% ④文:2.73% 政:2.37%
大学院の教育 改革	7. キャンパス整備	・九段キャンパスの整備・拡充・柏キャンパスの整備・維持		五十嵐常任理事 ⑤西畑常任理事 高岸副学長 (学長職務代理)	総務・人事課 柏事務課 ②企画・財務課	・理事会・常任理事会・政策会議・キャンパス整備委員会	④近隣不動産物件情報の収集 ⑤九段5号館各テナントとの 交渉実施、段階的整備 (3F改修計画の検討と実施) ⑧図書館設備の充実 ⑨柏キャンパス再エネ設備導入 の検討	④近隣不動産物件情報の 収集⑤九段5号館各テナントとの 交渉実施、段階開始)③ア施設の供用開始)⑧図書館設備の検討⑨柏キャンパス再エネ設備の 設置	④近隣不動産物件情報の収集⑤九段5号館各テナントとの交渉実施、段階的整備⑧図書館設備の検討⑨再エネ設備導入による光熱費削減効果の検証	④近隣不動産物件情報の収集⑤九段5号館各テナントとの交渉実施、段階的整備⑧図書館設備の検討	④近隣不動産物件情報の 収集 ⑤九段5号館各テナントとの 交渉実施、段階的整備 ⑧図書館設備の検討
	8. 図書館機能の整備	KPI ①学生支援度 ・附属図書館(九段・柏)の蔵書 精査	65.0	②高岸副学長 (学長職務代理) 押野図書館長	◎図書課	・図書委員会	②電子書籍の充実	①57.5 ①蔵書資料の重複調査 及び除籍 ②電子書籍の充実 ③新学科の資料整備	①57.5 ①蔵書資料の重複調査 及び除籍 ②データベース、電子ジャ ナルの見直し、電子 書籍の充実 ③新学科の資料整備	①57.5①蔵書資料の重複調査及び除籍②データベース、電子ジャナルの見直し、電子	①57.5①蔵書資料の重複調査及び除籍②データベース、電子ジャナルの見直し、電子
		KPI	-				(1) かまない フェー・ウェッケ	①加州地数シュニノの逆ュ	①加州数シュニノの土中	① 2.7 = 1 の A=T 4+ B + B+	1
	10. DXの推進	・次期教学システムの活用・推進		②高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 武山理事 須藤学務局長 中垣センター長	IR推進室 ◎教務課 ◎学生支援課 教職課程センター キャリアセンター 情報システム管理室 教学DX推進室		①次期教務システムのカスタ マイズ②LMSの導入	①次期教務システムの導入・ 運用 ②LMSの運用	①次期教務システムの内容 検証 ②LMSの内容検証	①システムの検証結果を踏まえた改善 ②LMSの検証結果を踏まえた 改善	①システムのカスタイズ ②LMSのカスタマイズ
		KPI		l	1]

	 分類	主要課題	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画				
		・自校教育の推進	目標値	五十嵐常任理事 ◎鵜飼校長 七五三校長	◎高校事務室	·附属計學 ·附属計學 ·對理 ·對理 ·對理 ·對理 ·對理 ·對理 ·對理 ·對理 ·對理 ·對理	2023年度 ①新教育課程の施行(3年目) ②建学の精神の継承 (「論語」教育、『私の論語』作成) ③特色ある教育活動の検証後 実施 ④遠隔授業検証後の実施	2024年度 ①新教育課程の施行(完成年度) ②建学の精神の継承(「論語」教育、『私の論語』作成) ③特色ある教育活動の検証後実施	2025年度 ②建学の精神の継承 (「論語」教育、『私の 論語』作成) ③特色ある教育活動の検証 後実施 ④遠隔授業の一部実施	2026年度 ②建学の精神の継承 (「論語」教育、『私の 論語』作成) ③特色ある教育活動の検証 後実施 ④遠隔授業の一部実施	2027年度 ②建学の精神の継承 (「論語」教育、『私の 論語』作成) ③特色ある教育活動の実施 ④遠隔授業検証後の実施
		KPI ①生徒満足度	92.0%				①90.0%	①90.0%	①90.0%	①90.0%	①90.0%
	1. 教育改革	・新大学入試制度への対応 ・難関大学への進学実績向上 ・生徒平均学力の向上 ・二松学舎大学への安定的進学者 数の維持	95.0%	◎鵜飼校長 七五三校長	◎高校事務室	· 附属音会 · 学生徒語 · 学生徒語 · 学生徒語 · 学生 · 类教画 運指主 · 类教画 運導 · 金 · 维科主任 · 教 · 企 维科 · 维科	②92.0% ①進学講座「学舎」の実施、検証で学舎」の実施、検証準2級合格者増) ③ ままれた。 本表現力・表現力・表現力・育成のができるができる。 本表現のでは、 全ののでは、 全ののでは、 会ののでは、 会ののでは、 会ののでは、 会のでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、 とのでは、	②92.0% ①進学講座「学び舎」の実施、技証 ②英語4技能の育成(英検2級・力・検証3思考の存格力・実践3思考の存的力・実践3の一段の表別の方式の方式の方式の方式の方式の方式の方式の方式の方式の方式の方式の方式の方式の	②92.0% ①進学講座「学び舎」の実施、検証 ②英語4技能の育成(英検2級・準2級合格か・表現力) ③思考力・準2級分別・準2級分別・20プランの実施・準2をののであるが、100プランの実際・検制ののであるが、100プランの実持導体のののできないでは、100でである。100ででは、100でである。100ででは、100でである。100ででは	②92.0% ①進学語を 」の実施 保証 ②英語4技能の育成(英検2級・準2級を連携を表述 ③思考が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	②92.0% ①進学講座「学び舎」の実施34 検証 ②英語4技能の育成(英検2級・準2級続・準2級続・準2級続) ③思考成・地域の 1007 シランの 東 1007 シランの 東 1007 東 1007 東 1007 東 14 後 1
		KPI ①進学実績 ②親大学進学者割合	国公立5.5% 早慶上理6.8% GMARCH22.8% 20.0%				①GMARCH30名 ②20.0%	①GMARCH30名 ②20.0%	①GMARCH30名 ②20.0%	①GMARCH30名 ②20.0%	①GMARCH30名 ②20.0%
Ⅲ. 附属高校の 教育改革		・生徒募集力の強化		◎鵜飼校長 七五三校長	◎高校事務室	·附属高校改革 検討会議 ·入試広報部 ·生徒募集戦略会議	①出願基準等の検討による 入学定員管理の徹底 ②「新しい広報」の検証後の 実施(オンライン見学会、 個別相談、授業公開等の 継続) ③新特待生制度の実施、検証	実施(オンライン見学会、 個別相談、授業公開等の 継続)	①出願基準等の検討による 入学定員で報」の検証後の 実施(オンライン見等の 機続) ③新特待生制度の実施、検証 ④各種説明会等の改善 (継続) ⑤本校のニーズを生かした 募集	実施(オンライン見学会、 個別相談、授業公開等の 継続)	①出願基準等の検討による 入学定い広報」の検証後の 実施(オンライン見学会、 個別相が、授業公開等の 継続) ③新特待生制度の実施、検証 ④各種説明 (継続) ⑤本校のニーズを生かした 募集活動の実施
		①志願者倍率 ②偏差値 ※保護者満足度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2.2倍 進学54.5 特進61.0 92.0% 95.0% 1400名 5.0%				②進学52.0、特進58.0 ③90.0% ④92.0% ⑤1400名 ⑥5.0%	①2.2倍 ②進学52.0、特進58.0 ③90.0% ④92.0% ⑤1400名 ⑥5.0%	⑤1400名 ⑥5.0%	①2. 2倍 ②進学52. 0、特進58. 0 ③90. 0% ④92. 0% ⑤1400名 ⑥5. 0%	①2. 2倍 ②進学52. 0、特進58. 0 ③90. 0% ④92. 0% ⑤1400名 ⑥5. 0%
	2. 生徒支援	・生徒、保護者満足度の向上		◎鵜飼校長 七五三校長	◎高校事務室	·附属高校改革 検討会議 •企画運営会議	①検証後の「新しい学校生活」 の実施 ③遠隔授業の継続実施 ④検証後の在校生への新特待生 制度の実施	①検証後の「新しい学校 生活」の実施 ③遠隔授業の継続実施 ④検証後の在校生への 新特待生制度の実施	①検証後の「新しい学校 生活」の実施 ③遠隔授業の継続実施 ④検証後の在校生への 新特待生制度の実施	①検証後の「新しい学校 生活」の検証 ③遠隔授業の検証 ④検証後の在校生への 新特待生制度の検証	①検証後の「新しい学校 生活」の検証後の実施 ③遠隔授業の検証後の実施 ④検証後の在校生への 新特待生制度の検証後の 実施
		KPI ①生徒満足度	92.0%				190.0%	①90.0%	①90.0%	190.0%	190.0%
	3. キャンパス整備	*教育環境の整備・拡充	95.0%	五十嵐常任理事 ②西畑常任理事 鵜飼校長 七五三校長	企画·財務課 ⊚高校事務室	・キャンパス整備 委員会 ・企画運営会議 ・体育科 ・生徒指導部	②92.0% ① 九段校舎の施設拡充策の 検討(建て替え計画のスケジューリング) ②校舎経年劣化に伴う補修 工事の実施 ③ 柏グラウンド付帯設備等 の拡充検討、電気設備整 備工事 の設置 ④野球部グラウンド外野フェンスの改修工事	②92.0% ①九段校舎の施設拡充策の 検討(建て替え計画 開始) ②校舎経年劣化に伴う補修 エ事の実施 ③柏グラウンドの設備充実 策実施 ④野球部合宿所・宿泊所等 必要補修等の実施	②92.0% ①九段校舎の施設拡充策の 検討(建て替え計画 の実施) ②校舎経年劣化に伴う補修 エ事の実施 ③柏グラウンドの設備充実 策実施	②92.0% ①九段校舎の施設拡充策の 検討(建て替え計画 の実施) ②校舎経年劣化に伴う補修 エ事の実施 ③柏グラウンドの設備充実 策実施	②92.0% ①九段校舎の施設拡充策の検討(建て替え計画の実施) ②校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ③柏グラウンドの設備充実策実施
		KPI ①生徒満足度 ②保護者満足度	92.0% 95.0%				1 90.0%	①90. 0% ②92. 0%	①90.0% ②92.0%	①90.0% ②92.0%	①90.0% ②92.0%

		主要課題	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画				
	/J /Y	工文阶段	目標値	15日在事刊	JEÆUIAK		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		- 自校教育の推進		五十嵐常任理事 ⑤七五三校長 鵜飼校長	◎高校事務室	・附属高を議会・検表を表される・検表を表さらの・技術の・技術の・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はの・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい・大はい<	①「論語」による人間形成の 実践 ・中学校=道徳化 ・高校=人間カ向上	①「論語」による人間形成の 実践 ・中学校=道徳化 ・高校=人間カ向上	①「論語」による人間形成の 実践 ・中学校=道徳化 ・高校=人間カ向上	①「論語」による人間形成の 実践 ・中学校=道徳化 ・高校=人間カ向上	①「論語」による人間形成の 実践 ・中学校=道徳化 ・高校=人間力向上
		KPI									
	1. 教育改革	・難関大学への進学実績向上 ・生徒平均学力の向上 ・二松学舎大学への安定的進学者 数の維持 ・グローバル人材育成に重点を置く 「学び」		◎七五三校長 鵜飼校長	◎高校事務室	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	修検討、オーストラリア長期 留学検討、本の経済を 一名のでは、一名のでは、 一名のでは、一名のでは、 一。 一名のでは、 一。 一名のでは、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	研修実施 計画 を	ラリア長期留学実施・検証 ③高校卒業までに英検2級全 員合格を目標とした学習指 導の実施(S特・特進クラ ス) ④アクティブラーニング授業	③目標達成の確認 ④継続実施・改善 ⑤外部模試等の改善・継続 実施	②留学生の ③国は ②留学標準 ④改外部で ⑥ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・
IV. 附属柏中学校・ 高校の教育改革		①進学実績 KPI ②親大学進学者割合 ③学力伸長度合(中学)	国公立8.1% 早慶上理25.7% GMARCH50.1% 15.0% 入学時偏差値				①国公立3.0%、早慶上理 3.0%、GMARCH20.0% ②15.0% ③入学時偏差値から+3.5	①国公立3.0%、早慶上理 3.0%、GMARCH20.0% ②15.0% ③入学時偏差値から+3.5	①国公立3.0%、早慶上理 3.0%、GMARCH20.0% ②15.0% ③入学時偏差値から+3.5	①国公立3.0%、早慶上理 3.0%、GMARCH20.0% ②15.0% ③入学時偏差値から+3.5	①国公立3.0%、早慶上理 3.0%、GMARCH20.0% ②15.0% ③入学時偏差値から+3.5
同牧の牧育以生		・生徒募集力の強化	<i>ჯ</i> \-გ∙4.5	◎七五三校長 鵜飼校長	◎高校事務室	・附属高校改革 検討会議 ・校長室会議 ・執行会議等	①高校の臨時定員による 生徒募集 ④中高広報活動の強化 ⑦中学募集対策継続実施 ⑧戦略的スクールパス運行 計画の実施・見直し ⑨入試制度見直し・実施による 入学定員管理の徹底	①高校の臨時定員による 生徒募集 ④中高広報活動の強化 ⑦中学募集対策継続実施 ⑧戦略的スクールバス運行 計画の実施・見直し ③入試制度見直し生死に よる入学定員管理の徹底	①高校の臨時定員による 生徒募集 ④中高広報活動の強化 ⑦中学募集対策継続実施 ⑧戦略的スクールバス運行 計画の実施・見直し ③入試制度見直し生の徹底	①高校は臨時定員終了後の 生徒高広報活動の強化 ⑦中学募集対策継続実施 ⑧戦略的スクールバス運行 計画の実施・見直 し ③入試制度見直し・変施に よる入学定員管理の徹底	①高校は臨時定員終了後の 生徒募集へ移行 ④中高が報化 ⑦中学募集対策継続実施 ⑧戦略的スクールバス運行 計画の実施・見直し ③入試制度見直し等施に よる入学定員管理の徹底
		①志願者倍率 ②偏差値 KPI ③生徒満足度 ④保護者満足度 ⑤学校興味度 ⑥リピーター率	高校:9.97倍 中学:16.18倍 高校S特:61.9 中学59.6 高校·中学95.0% 高校·中学95.0% 高校5000名 中学1500名				③高校95%、中学95% ④高校95%、中学95% ⑤高校4000名、中学1000名	①高校4.50倍、中学6.00倍 ②高校8特62.0、中学53.0 ③高校95%、中学95% ④高校95%、中学95% ⑤高校4000名、中学1000名 ⑥7.0%	①高校4.50倍、中学6.00倍 ②高校8特62.0、中学53.0 ③高校95%、中学95% ④高校95%、中学95% ⑤高校4000名、中学1000名 ⑥7.0%	①高校4.50倍、中学6.00倍 ②高校8特62.0、中学53.0 ③高校95%、中学95% ④高校95%、中学95% ⑤高校4000名、中学1000名 ⑥7.0%	①高校4.50倍、中学6.00倍 ②高校8特62.0、中学53.0 ③高校95%、中学95% ④高校95%、中学95% ⑤高校4000名、中学1000名 ⑥7.0%
	2. 生徒支援	・生徒、保護者満足度の向上		◎七五三校長 鵜飼校長	◎高校事務室	· 附属属高校改改革 校議 校計長行会議議 · 教教務部会 · 総務務部会	①特特生制度改善の継続 ②二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ④生徒・保護者満足度の上昇策の改善、継続実施 ⑤ファインシステム・スタディプラスを利用した生徒指導の継続とPDCAサイクルの検証 ⑥生徒面談の充実とカウンセラーの活用	②二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ④生徒・保護者満足度上昇 策の改善、総続"スパンスプル・スタディンラスプル・スタディンジスプル・スタディン 利用した生徒指導の継続 とPDCAサイクルの検証	①特待生制度改善実施の継続 ②二松キャリアデザインプラムの継続実施 ④生徒・保護者満足度上昇 策の改善、総持で10 万7/2/27 1・28 7 7 7 7 7 7 5 7 を 利用した生徒指導の継続 とPDCAサイクルの検証 ⑥生徒面談の充実とがソセラーの 活用		グラムの継続実施 ④時代の変化に合わせた調査 内容の検討・精査。調査 方法を再検討。 ⑤ファインシステム・スタディプラスを利用 した生徒指導の継続とPDCA サイクルの検証 ⑥生徒面談の充実とカウンセラーの
		KPI ①生徒満足度 ②保護者満足度	高校·中学95.0% 高校·中学95.0%				①高校96%、中学96% ②高校96%、中学96%	①高校96%、中学96% ②高校96%、中学96%	①高校96%、中学96% ②高校96%、中学96%	①高校96%、中学96% ②高校96%、中学96%	①高校96%、中学96% ②高校96%、中学96%

	 分類	主要課題	最終	担当理事等	推進部課	関係会議等	5カ年の年次推進計画				
	1. 長期ビジョンの推進	・KPI目標数値の達成	目標値	五十嵐常任理事 ②西畑常任理事	◎企画·財務課		2023年度 ①KPIダッシュボード管理 システムの検証・見直し ②ベンチマーク校とのKPI差異 の要因分析実施 ③採用KPI指標の見直し	2024年度 ①KPIダッシュボード管理 システムの検証・見直し ②ベンチマーク校とのKPI 差異の要因分析実施 ③採用KP指標の見直し ④10年経過時点でのベンチ マーク校比較実施	2025年度 ①KPIダッシュボード管理 システムの検証・見直し ②ベンチマーク校とのKPI 差異の要因分析実施 ③採用KPI指標の見直し ④10年経過時点でのベンチ マーク校比較実施	2026年度 ①KPIダッシュボード管理 システムの検証・見直し ②ベンチマーク校とのKPI 差異の要因分析実施 ③採用KPI指標の見直し ④10年経過時点でのベンチ マーク校比較実施	2027年度 ①二松学舎KPIダッシュボード の見直し ②ベンチマーク校とのKPI 差異の要因分析を実施 ③採用KPI指標の見直し ④10年経過時点でのベンチマーク校比較実施
		KPI									
		・強固な財務基盤の維持、向上		◎西畑常任理事	◎企画·財務課 ◎経理課	・理事会 ・常任理事会 ・予算編成会議 ・資金会議	①新大学学納金体系の効果 検証 ②収入増&支出減対策の 実施 ③収入増加策、各種業務 改善・家主 ④各種財務指標の改善 計画見直し・策定	②収入増&支出減対策の 実施 ③収入増加策、各種業務 改善・効率化策の継続 的提案実施 ④各種財務指標の改善 計画検証 ⑤各ペンチマーク校との学納 金比較実施	②収入増&支出減対策の 実施 ③収入増加策、各種業務 改善・効率化策の継続 的提案実施 ④各種財務指標改善度合 中間評価 ⑤各ペンチマーク校との学納 金比較実施	②収入増&支出減対策の 実施 ③収入増加策、各種業務 改善・効率化策の継続 的提案実施 ④各種財務指標改善度合 中間評価 ⑤学納金改定の検討	②収入増&支出減対策の実施 ③収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施 値 ④学納金改定の実施
		①積立率 ②事業活動収支差額比率 KPI ③経常収支差額比率 ④教育活動収支差額比率 ⑤運用資産余裕比率	103.5% 10.5% 8.5% 6.7% 2.3年				①93.0% ②7.5% ③9.0% ④6.5% ⑤2.3年	①94.0% ②8.0% ③10.0% ④7.0% ⑤2.4年	①94.0% ②8.0% ③10.0% ④7.0% ⑤2.4年	①94.0% ②8.0% ③10.0% ④7.0% ⑤2.4年	
		・奨学金制度の整理・体系化		②西畑常任理事 高岸副学長 (学長職務代理) 鵜飼校長 七五三校長	◎企画・財務課 経理課 大学改革推進課 入試生支護課 附属高事務室	理事会・常任理事会・予算編成会議・政策会議・教授会等	①第3号基本金への計画的 な組入計画の継続実施 ②新奨学金制度の提案 ③新教育研究奨励制度の提案	①第3号基本金への計画的 な組入計画の継続実施 ②新奨学金制度の導入 ③新教育研究奨励制度の導入	①第3号基本金への計画的 な組入計画の継続実施 ②新奨学金制度の効果検証	①第3号基本金への計画的 な組入計画の継続実施 ②新奨学金制度の効果検証、 見直し	①第3号基本金への計画的 な組入計画の継続実施 ②新奨学金制度の効果検証、 見直し
	- 0176	KPI						①兹在45+11·10·10·10·10·10·10·10·10·10·10·10·10·1	① \$\frac{1}{2} \frac{1}{2} \f	① 兹 在 处 材 以 A 桂 和 A 加 传 上	(1 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
V. 財務、人材育成、 評価、組織、 広報、その他	2. 財務	・収入源の多様化と安定的収入の確保		◎西畑常任理事 高岸副学長 (学長職務代理) 鵜飼校長 七五三校長 (高柳理事)	総務・人事課 ②企画・財務課 ③大学改革推進課	•政策会議 •大学運営会議	①競争的補助金情報の収集と 対策案の検討 ②私立大学等改革総合支援事業 の採択に向けた課題抽出 ③資金運用収入の安定的確保	①競争的補助金情報の収集と対策案の検討 ②私立大学等改革総合支援 事業の採択に向けた課題 抽出 ③資金運用収入の安定的確保	① 販事的補助金情報の収集と対策案の検討 ② 私立大学等改革総合支援 事業の採択に向けた課題 抽出 ③ 資金運用収入の安定的確保	①競争的補助金情報の収集と対策案の検討 ②私立大学等改革総合支援 事業の採択に向けた課題 抽出 ③資金運用収入の安定的確保	①競争的補助金情報の収集と対策案の検討 ②私立大学等改革総合支援事業の採択に向けた課題抽出 ③資金運用収入の安定的確保
		KPI ①学術成果	学生支援度				65	65	65	65	65
		・寄付金収入の安定的確保		②西畑常任理事 高岸副学長 (学長職務代理) 鵜飼を校校 七五二理事 高柳理事	総務・人事課 ②企画・財務課 附属高校事務室 附属柏中高 事務室	·教育研究振興資金 管理運営委員会	①寄付金募集改善策の効果 検証 ②設置校別寄付金獲得目標 の導入検討 ③創立145周年記念募金の フォローアップ	①寄付金募集改善策の効果 検証 ②設置校別寄付金獲得目標 の導入	①寄付金募集改善策の効果 検証 ②設置校別寄付金獲得目標 の実施 ③創立150周年記念募金募集 計画の検討	①寄付金募集改善策の効果 検証 ②設置校別寄付金獲得目標 の継続実施 ③創立150周年記念募金の 募集開始	②新組入計画の実行 ③「150周年」記念募金の 実施 ④設置校別寄付金獲得目標の 継続実施
		KPI ①在籍者1名あたり寄付金・財政基盤の維持	35907.2円	◎西畑常任理事	◎企画·財務課	•政策会議	①効果測定、格付け維持 ②効率的資金運用計画の 検討 ③「格付取得の意義」に関 する学内説明会等の開催	①効果測定、格付け維持 ②効率的資金運用計画の 検討 ③「格付取得の意義」に関 する学内説明会等の開催	①効果測定、格付け維持 ②効率的資金運用計画の 検討 ③「格付取得の意義」に関 する学内説明会等の開催	①効果測定、格付け維持 ②効率的資金運用計画の 検討 ③「格付取得の意義」に関 する学内説明会等の開催	①効果測定、格付け維持 ②効率的資金運用計画の 検討 ③「格付取得の意義」に関 する学内説明会等の開催
		KPI					@#####################################	○ # ★Ab+AbAb+Ab+Ab+AbAbAbABA	(A) + 7 + + + + + + + + + + + + + + + + +	04744400=1====+#	@##### ODE! # 0 ##
		・二松学舎SD計画の推進		◎五十嵐常任理事 小町理事	◎総務·人事課 大学改革推進課	·SD委員会	①体系的なSD計画の実施・ 検証 32024年度研修計画の策定	①体系的なSD計画の実施・ 検証 ③2025年度研修計画の策定	①体系的なSD計画の実施・ 検証 ③2026年度研修計画の策定	①体系的なSD計画の実施・ 検証 ③2027年度研修計画の策定	①体系的なSD計画の実施・ 検証 ③2028年度研修計画の策定
		KPI SD大学教職員参加率	100%		-		100%	100% ② A 東奥動・採用計画の	100%	100%	② 人 車 毘 動 ・ 坂 田 計 画 の
	3. 教職員の育成 (人事・評価制度、 能力開発・研修制度)	・人事計画の見直し		◎五十嵐常任理事 高岸副学長 (学長職務代理) 小町理事	◎総務・人事課◎大学改革推進課	•人事計画検討会議	②人事異動・採用計画の 継続的な見直し	②人事異動・採用計画の 継続的な見直し	②人事異動・採用計画の 継続的な見直し	②人事異動・採用計画の 継続的な見直し	②人事異動・採用計画の 継続的な見直し
	אלוניוויפיון ופי טלנותו כלטה	KPI			-		 ①報奨制度の検証・見直し	①報奨制度の検証・見直し	②⑤第一次評価者に対する	②⑤第一次評価者に対する	②⑤評価の検証と見直し
		・人事評価制度の改善		五十嵐常任理事 西畑常任理事 高岸副学長 (学長職務代理) ②小町理事	◎総務・人事課	·人事制度検討委員 会	①報奨制度の検証・見直し ②⑤第一次評価者に対する 評価の研修、評価の検証 と見直し	①教契制度の検証・見直し ②⑤第一次評価者に対する 評価の研修、評価の検証 と見直し	② 第一次評価者に対する 評価の研修、評価の検証 と見直し	(グ) 第一次評価者に対する 評価の研修、評価の検証 と見直し	金沙計 Wが快証 C 兄 恒 し
	<u> </u>	KPI	<u> </u>		<u> </u>	l			<u> </u>		

分類		→ ==== ==	最終	40.47 四市佐	₩ <i>\</i> # ₩ ===	明友人辛佐	5カ年の年次推進計画				
1	分 類	主要課題	目標値	担当理事等	推進部課	関係会議等	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	4. 教職員の勤務形態	・働き方改革		五十嵐常任理事 高岸副学長 (学長職務代理) ⑤小町理事	◎総務・人事課	·人事制度検討委員 会	①時間外勤務の抑制に関 する対策の実施・検証 ②年休取得対策実施・検証	①時間外勤務の抑制に関する対策の実施・検証 ②年休取得対策実施・検証 ③同一労働同一賃金に関する対策の実施・検証	①時間外勤務の抑制に関する対策の実施・検証 ②年休取得対策実施・検証 ③同一労働同一賃金に関する対策の実施・検証	①時間外勤務の抑制に関する対策の実施・検証 ②年休取得対策実施・検証 ③同一労働同一賃金に関する対策の実施・検証	①時間外勤務の抑制に関する対策の実施・検証 ②年休取得対策実施・検証 ③同一労働同一賃金に関する対策の実施・検証
		KPI									
	5. 組織・権限	・法人ガバナンスの検証、改善		◎五十嵐常任理事 西畑常任理事 高岸副学長 (学長職務代理) 佐藤常任理事 小町理事	◎総務・人事課	・理事会 ・常任理事会 ・政策会議	①私学法の改正を踏まえた ガパナンス・コードの検証	①私学法の改正を踏まえた ガバナンス・コードの検証	①ガパナンス・コードの 検証・見直し	①ガパナンス・コードの 検証・見直し	①ガバナンス・コードの 検証・見直し
		KPI									
	6. 広報	・知名度の向上		西畑常任理事 ③小町理事 髙柳理事	◎広報課 ◎入試課	・学生募集広報戦略 検討会議 ・広報運営委員会	①前年度等入試広報の費用対 効果検証・見直し ②外部評価機関ランキング 等、エビデンスに基づく 広報展開 ③新受験生サイトの検証と調整	①前年度等入試広報の費用 対効果検証・見直し ②外部評価機関ランキング 等、エ展開 ③新受験生サイトの検証と 調整	①前年度等入試広報の費用 対効果検証・見直し ②外部評価機関ランキング 等、エ展開 ③新受験生サイトの検証と 調整	①前年度等入試広報の費用 対効果検証・見直し ②外部評価機関ランキング 等、エ展開 ③新受験生サイトの検証と 調整	①前年度等入試広報の費用 対効果検証・見直し ②外部評価機関ランキ基づく 広報展開 ③新受験生サイトの検証と 調整
		KPI ①大学ブランドイメージ調査	49.3				<u>1</u> 48. 0	1 49. 0	1 50.0	1 51.0	①52. 0
V. 財務、人材育成、 評価、組織、		・業務の効率化		◎小町理事	◎総務·人事課 柏事務課 ◎企理課 ◎経理課 附属高事務室 柏中高事務室	•部課長会議	①効率的な組織構築に反映 ②適正な人員配置に反映 ③各部署内での面談による業務 改善 ④出勤管理システムの検証、 運用ルールの検討	①効率的な組織構築に反映 ②適正な人員配置に反映 ③各部署内での面談による 業務改善	①効率的な組織構築に反映 ②適正な人員配置に反映 ③各部署内での面談による 業務改善	①効率的な組織構築に反映 ②適正な人員配置に反映 ③各部署内での面談による 業務改善	①効率的な組織構築に反映 ②適正な人員配置に反映 ③各部署内での面談による 業務改善
広報、その他		KPI									
		・既存施設の維持、改善		五十嵐常任理事 ⑥西畑常任理事 小町理事	◎総務・人事課 柏事務課 企画・財務課	・キャンパス整備 委員会	①長期修繕計画に伴う 修繕工事の段階的な実施	①長期修繕計画に伴う 修繕工事の段階的な実施	①長期修繕計画に伴う 修繕工事の段階的な実施	①長期修繕計画に伴う 修繕工事の段階的な実施 ③150周年を機とした既存 施設等の大規模修繕等の 検討	①長期修繕計画に伴う 修繕工事の段階的な実施 ③150周年を機とした既存 施設等の大規模修繕等の 実施
		KPI									
	7. その他	・BCP(事業継続計画)プランの策定		五十嵐常任理事 ⑥小町理事 武山理事	◎総務・人事課◎柏事務課	•防災対策会議	①危機管理規程に基づく運用体制の検証・見直し、新たな危機管理マニュアルの策定 ③規程に基づく柏校舎マニュアルの検証・見直し (④柏校舎防災対策検証・見直し	体制の検証・見直し、 新たな危機管理マニュアル の周知徹底	①危機管理規程に基づく運用体制の検証・見直し、新たな危機管理マニュアルの周知制基づく柏校舎マニュアルの検証・見直し、4 柏校舎防災対策検証・見直し	体制の検証・見直し、	の周知徹底
		KPI									
		・卒業生ネットワークの強化		◎高岸副学長 (学長職務代理) 鵜飼校長 七五三校長	総務・人事課 大学改革推進課 教職課程センター キャリアセンター ③附属高校事務室 ③附属格中高 事務室		①実業界ネットワークの 検証と見直し ②業種別ネットワーク会合 の設定(サービス業部会)、 翌年度の実施業界について 検討 ③本学卒業生全国私立学校 関係者会計画策定	①実業界ネットワークの 検証と見直し ②業種別ネットワーク会合 の設定 ③本学卒業生全国私立学校 関係者ネットワークの 全体会合実施	①実業界ネットワークの 検証と見直し ②業種別・本学卒業生全国 私立学校関係者ネット ワークの検証と見直し	①実業界ネットワークの 検証と見直し ②業種別・本学卒業生全国 私立学校関係者ネット ワークの検証と見直し	①実業界ネットワークの 検証と見直し ②業種別・本学卒業生全国 私立学校関係者ネット ワークの検証と見直し
		KPI				1					